



日本化粧品技術者会

THE SOCIETY OF COSMETIC CHEMISTS OF JAPAN

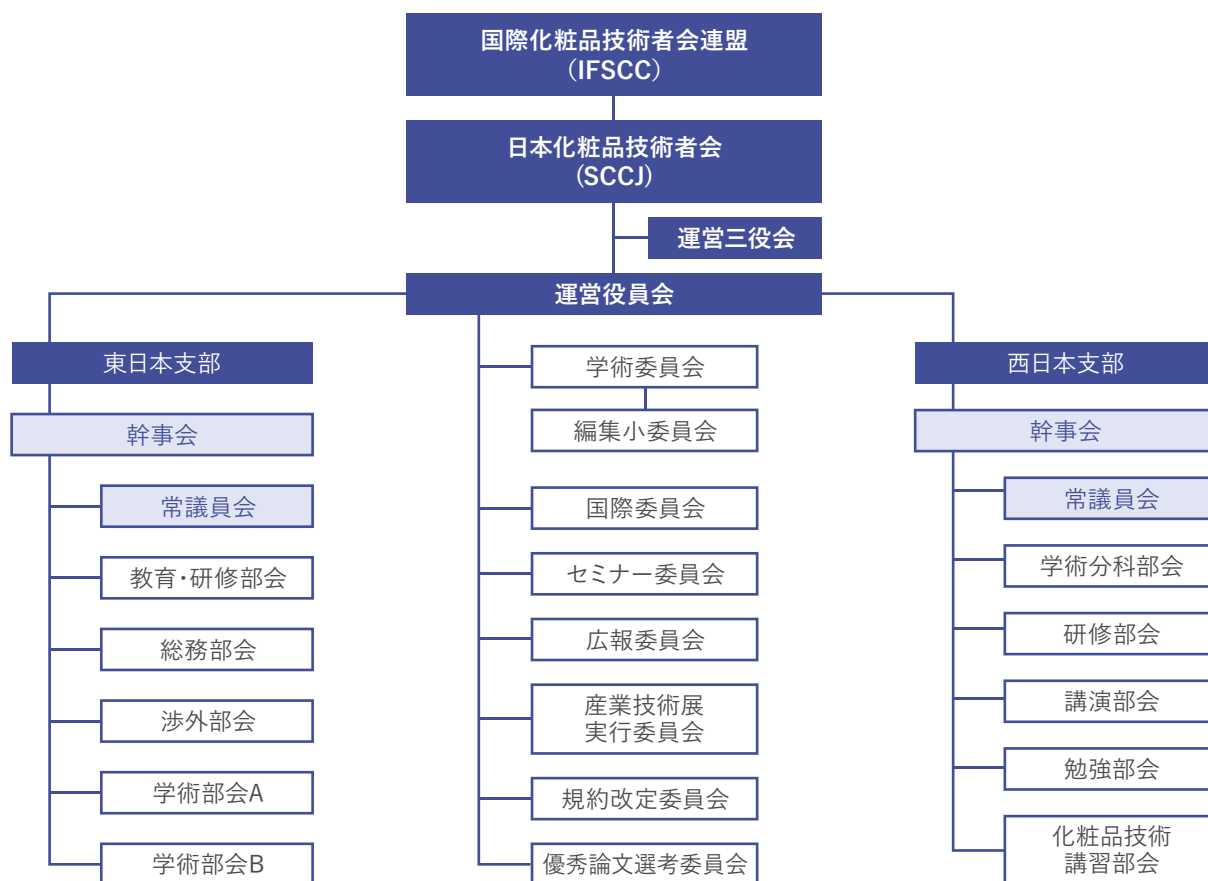
日本化粧品技術者会(SCCJ)は「化粧品及び関連の科学技術の進歩向上に貢献すると共に、会員相互の交流と啓発を図るための活動を行い、内外の化粧品産業の発展に寄与する」ことを目的としています。

化粧品は皮膚科学、乳化・分散技術、製造技術、香料・原材料開発、容器開発、さらには製品の有用性の評価など多くの技術の集合として一つの商品が作り上げられています。科学技術を結集させることにより外面的な美しさだけでなく、ヒトの心や脳への内面にまで働きかけ、美しさを願う人々の夢を叶えてきました。化粧品に関わる学問分野毎の学会はそれぞれにありますが、化粧品をトータルで議論できる場はなかなかありません。SCCJは、化粧品に関わる最先端の研究や技術、知識・情報を、研究討論会、セミナー、講習会等の開催やジャーナルの発行を通して、自由に共有でき、会員相互のレベルアップを図る「場」を提供しております。日本化粧品技術者会(SCCJ)は、1947年に発足し、2008年より日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

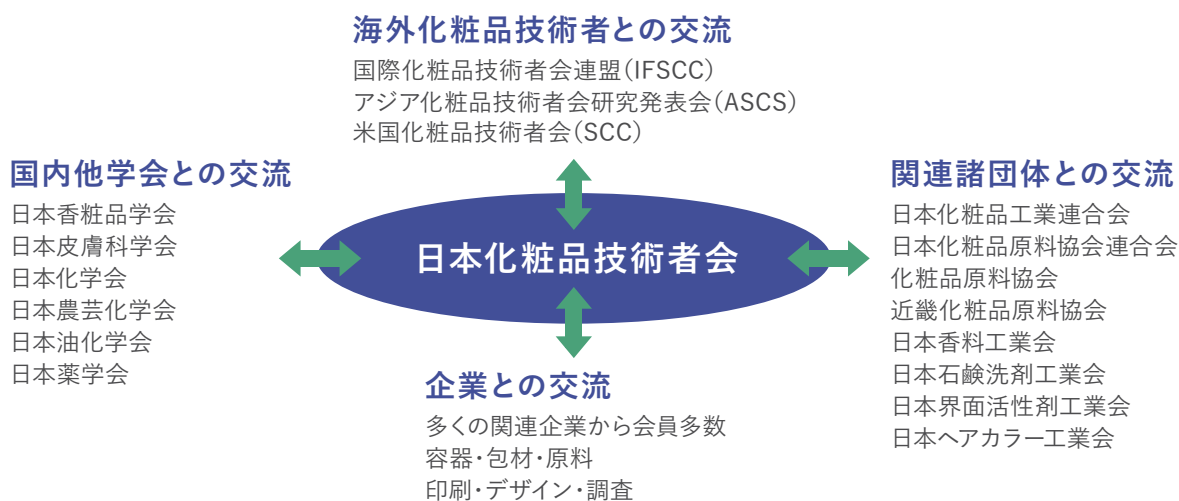
現在では会員数1800名を超え、SCCJの学会活動へ多くの会員の皆さまに参加いただいています。



組織



主な関連団体との交流



主な活動内容

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 総会の開催 研究討論会の定期開催 SCCJセミナーの定期開催 支部独自の活動(東日本・西日本) 支部独自の活動(コスメ倶楽部・エルダーズ) | <ul style="list-style-type: none"> ジャーナル(会誌)の発行 海外研究発表会への参加支援 国際化粧品技術者会連盟活動への参加 アジア化粧品技術者会研究発表会への参加 化粧品産業技術展CITE JAPANの共催 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

SCCJ総会の開催

本会の活動年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終了します。定時総会は、毎年5月中旬に開催し、役員を選出のほか、規約の制定または改廃、各種活動報告および決算、会計監査報告や新年度の活動計画や予算案を会員に提示し、承認を得ております。

総会にあわせ、各分野の興味深いテーマに関する「講演会」や「視察」を開催し、多くの会員の皆さまにご出席いただいています。

SCCJ研究討論会の開催

国内の化粧品技術者・研究者が最も注目している場において、会員をはじめ関連化粧品分野から数多くの最新の研究成果が発表されます。

年2回の開催（東・西）では、多数の参加者によって終始活発な討論が行われており、さらに「Q&Aコーナー」では、それぞれの研究内容について発表者と参加者間で直接議論を交わしていただけます。

最優秀発表賞の表彰

化粧品関連分野の研究の一層の発展と活性化をはかることを目的とし、第76回（2015年）開催より、学術委員会による選定を経て毎回最も優れた発表に対し「最優秀発表賞」を授与し、表彰しています。

海外研究発表会への参加支援

日本化粧品技術者会（SCCJ）が事前対策セミナーを開催する等、国際化粧品技術者会連盟（IFSCC）が主催する研究発表会や、アジア地区化粧品技術者会研究発表会（ASCS）等への積極的な学会発表・参加をサポートしています。又、海外での研究発表会（上記IFSCCおよびASCS）へ、会員の皆さんが安心して参加いただけるよう、参加旅行団の企画も行っています。

SCCJセミナーの定期開催

次世代を担う中堅技術者・研究者を対象として、テーマ別のセミナーを年に2回開催しています。

学識経験者や企業の工場、研究所などで活躍している技術者・研究員を講師に招き、それぞれの専門分野や、最新の知見を紹介いただくと共に、参加者とのフリーディスカッションも行われています。

取り上げるテーマは、参加者のニーズや動向を考慮し、常に関心の高いテーマとなるようセミナー委員会で企画運営しています。

支部独自の活動(東日本・西日本)

各支部において、化粧品および関連の科学技術の進歩向上、あわせて会員相互の交流と啓発を図ることを目的に、講演会や勉強会などを開催し、会員の積極参加をサポートしています。

東日本支部の活動

化粧品技術基礎講習会	研究会
化粧品関連業界の入社1～3年程度の技術者・研究員を対象に、現役の研究員を講師に迎え、化粧品に関わる原料、香料、材料、各種製剤、法規、心得等の、開発・製造・販売時に必要な基礎的知識の習得を目的として、年1回3日間、東京化粧品工業会との共催で開催しています。	将来を担う若手・中堅(35歳未満)の化粧品技術者・研究者を対象に、実務上関心の高いテーマについて、講演だけでなく、お互いの情報交換を含めたグループ討議も行う研究会を年数回、開催しています。
講演会	技術見学会
トピックスなど関心の高いテーマについて、学識経験者ほかの講師を招いた講演会を年に数回、開催しています。	会員相互の交流と、他分野のシステムや取り組み方を学ぶとともに交流を目的にして、他分野の見学を行う会を開催しています。

西日本支部の活動

化粧品技術基礎講習会	化粧品技術実践講習会
化粧品に関わる企業に入社された、企画・研究・製造・営業の幅広い職種の方々を対象に、商品開発から製造・販売時に必要な基礎的な知識の習得を目的として、西日本化粧品工業会との共催で開催しています。	実践的な化粧品開発に関する講義のご要望にお応えすべく、特に技術系職種の方向けに処方開発に関連する知識の習得を目的として、西日本化粧品工業会との共催で開催しています。
化粧品技術専門講習会	勉強会
化粧品の製品化において、いろいろな分野の技術が必要です。毎回テーマを設定し、各分野で必要な専門的な知識の習得を目的として、西日本化粧品工業会との共催で開催しています。	実務上関心の高いテーマについて、講演だけでなく、より深い知識吸収のためにグループ討議、実演、パネルディスカッションなどを含めた勉強会を年に数回、開催しています。さらに情報交流会も実施し、講師の先生や他の参加者との情報交換の場も提供しています。
講演会	研修会
トピックスなど関心の高いテーマについて、学識経験者ほかの講師を招いた講演会を年に数回、開催しています。	会員相互の交流と、他分野のシステムや取り組み方を学ぶとともに交流を目的にして、他分野の見学・研修を行う会を開催しています。

化粧品産業技術展(CITE JAPAN)共催

国内外の化粧品に関連する素材・技術・容器等の展示と技術発表の場として「CITE JAPAN (Cosmetic Ingredients and Technology Exhibition)」が、日本化粧品技術者会の主催でスタートし、開催毎に規模を拡大してきました。現在、專業展示会としては国内最大級となっています。「第5回CITE JAPAN」より、日本化粧品原料協会連合会の主催となりましたが、日本化粧品技術者会は引き続き共催しています。



国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)活動への参加

日本化粧品技術者会(SCCJ)の上部組織である国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)には、世界各地にわたる49のSocietyが加盟し、総会員数は約16,000名となっております。

最も大きな学術大会(Congress)には、各国の化粧品技術者が一堂に会し、最新の研究成果を発表し活発な討論が行われ、優秀な発表に対しては各種のAwardが授与されています。開催地は各Societyが中心となり、世界各地で交互に開催されます。

また、IFSCCでは、化粧品に係わる学術雑誌である「IFSCCマガジン」デジタル版を年に4回発行、化粧品技術の後進国に対する技術指導の実施、化粧品に係わる書籍の出版なども行っています。

* SCCJ会員は「IFSCCマガジン」をデジタル版で利用できます。

* 2023年からは毎年Congress開催に変更。

過去&今後の開催地



※ 2020年の日本におけるIFSCC-Congressは、COVID-19禍に伴い、オンライン開催へ変更となりました。

SCCJの国際的ポジション

日本からの研究発表は、その学問的価値、化粧品としての応用性が極めて高いと評価され、IFSCC最優秀賞、優秀賞、ポスター賞等、多数受賞しています。

アジア化粧品技術者会研究発表会(ASCS)への参加

ASCSは「アジア地域における化粧品技術の向上と化粧品産業の一層の発展を図り、アジア各国の化粧品技術者の交流を深めること」を目的として日本が提案、各国の化粧品技術者会に参加を呼びかけ、1993年に「第1回ASCS神戸大会」の開催を皮切りに、2年毎にアジア各国で開催されています。

SCCJジャーナルの発行(年4回)

1963年に創刊以来50年以上継続し、現在ではWebサイト内でデジタル配信を行っており、創刊号から最新号までをご覧いただけます(SCCJ会員限定)。

掲載される内容は研究討論会で発表された研究論文のほか、「原著」「短報」「資料」「総説」に分類された論文で構成され、会員相互の交流にも役立っています。



優秀論文賞の選定

SCCJジャーナルに掲載された研究論文の中から、毎年最も優秀な論文を選出し、表彰しています。

▶ 過去の優秀論文賞についてはこちらをご覧ください。 <https://www.sccj-ifsc.com/journal/excellent>



J-STAGEへの掲載

SCCJジャーナルは国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が構築した日本の科学技術情報の電子ジャーナル出版「科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)」に2010年より電子アーカイブされています。J-STAGEでも研究論文のバックナンバーを創刊号から全文閲覧することができます。

[英語トップページ] <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sccj/list/-char/en>

[日本語トップページ] <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sccj/list/-char/ja>



※ JSTは2002年、国内学協会誌の国際情報発信力強化と知的資産保存のため、特に重要な学術誌について過去の紙媒体に遡って創刊号から電子化(電子アーカイブ)して公開するJournal@rchive事業を実施し、現在はJ-STAGEとして公開されています。

▶ SCCJ会員登録についてはこちらをご覧ください。 <https://www.sccj-ifsc.com/about/guide>



総合お問い合わせ先 <https://www.sccj-ifsc.com/contact>

日本化粧品技術者会

〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島1-2-11 資生堂グローバルイノベーションセンター内
TEL:045-222-1608 FAX:045-222-1652

日本化粧品技術者会 東日本支部

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-11-1 アイオス五反田駅前7F-705
TEL:03-6431-9196 FAX:03-6431-9126

日本化粧品技術者会 西日本支部

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ(株)内
TEL:06-6231-3459 FAX:06-6231-5769